

みらかホールディングス株式会社
2015年度(2016年3月期)
第3四半期業績概況

2016年 2月 9日

2015年度 第1-3四半期 業績概要

MLSのれん減損の影響により当期純利益は損失を計上

(単位:億円)

	14年度1-3Q 実績	15年度1-3Q 実績	対前年同期 増減(率)	通期修正予想 (2016.1開示)	対通期修正 予想進捗率
売上高	1,541.1	1,593.8	+52.7 +3.4%	2,100	75.9%
営業利益	214.0 13.9%	206.2 12.9%	-7.9 -3.7%	257 12.2%	80.2%
営業外損益	-0.5	-12.5	-12.0 -	-	-
経常利益	213.6 13.9%	193.7 12.2%	-19.9 -9.3%	245 11.7%	79.0%
特別損益	5.1	-197.1	-202.2 -	-	-
税金等調整前 当期純利益	218.6 14.2%	-3.4 -0.2%	-222.1 -	-	-
法人税等	83.5	96.2	+12.7 +15.2%	-	-
当期純利益	135.1 8.8%	-99.6 -6.2%	-234.7 -	-58 -2.8%	-
MLSのれん減損額を 除いた当期純利益	-	124.0 7.8%	-	166 7.9%	74.7%

【経常利益、当期純利益の対前年変動要因】

- 営業外損失
 - 持分法による投資損失(主にBMGL)
- 特別損益/法人税等
 - MLSのれん減損(約224億円)
 - MLSに対する訴訟に関連した税金費用(実質影響額は2Qより減少し約5億円)
 - 14年度1-3Q: 固定資産売却に伴う特別利益(約14.8億円)
 - 事業構造改善費用(約8.7億円)

2015年度 第1-3四半期 業績概要

売上高は過去最高を更新するも減益

(単位: 億円)

	14年度1-3Q 実績	15年度1-3Q 実績	対前年同期 増減(率)	通期修正予想 (2016.1開示)	対通期修正 予想進捗率
売上高	1,541.1	1,593.8	+52.7 +3.4%	2,100	75.9%
臨床検査薬(IVD)	321.2	343.2	+22.0 +6.9%	463	74.1%
受託臨床検査(CLT)	1,006.7	1,035.3	+28.6 +2.8%	1,356	76.4%
ヘルスケア関連(HR)	213.2	215.3	+2.1 +1.0%	281	76.6%
営業利益	(*) 214.0 13.9%	(*) 206.2 12.9%	-7.9 -3.7%	257 12.2%	80.2%
臨床検査薬	80.1 24.9%	87.3 25.4%	+7.2 +9.0%	109 23.5%	80.1%
受託臨床検査	109.7 10.9%	95.7 9.2%	-14.1 -12.8%	120 8.8%	79.7%
ヘルスケア関連	23.5 11.0%	21.6 10.1%	-1.8 -7.9%	28 10.0%	77.3%
EBITDA (**)	325.9 21.2%	317.6 19.9%	-8.3 -2.6%	—	—

(*) セグメント利益調整額(14年度1-3Q: 0.7億円、15年度1-3Q: 1.6億円)を含んでおります。

(**) EBITDA = 営業利益+減価償却費+のれん償却費

※為替レート 14年度1-3Q: 1USD=106.88JPY, 1EURO=140.30JPY; 15年度1-3Q: 1USD=121.71JPY, 1EURO=134.38JPY

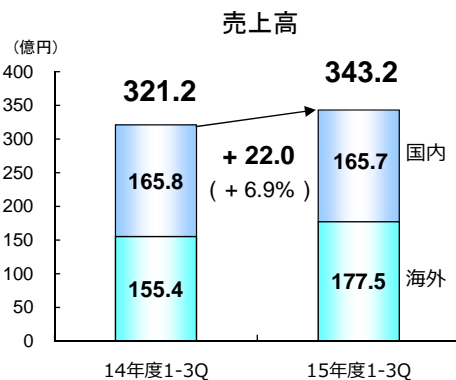
売上高 : IVDの海外事業の伸長および為替影響により増収

営業利益 : CLTの利益減をIVDの利益増が補えず減益

2

2015年度 第1-3四半期業績

1. IVD事業 : 増収、増益



◆国内: 売上は前年並み、減益(-7.7億円)

◇製品売上は前年並み

- ・ LP試薬: 前年並み
- ・ 非LP製品: 全体では前年並み
(インフルエンザ検査試薬は売上減)

◇減益

- ・ LP海外上市に向けたR&D費用の増加
- ・ プロダクトミックスの影響による限界利益減

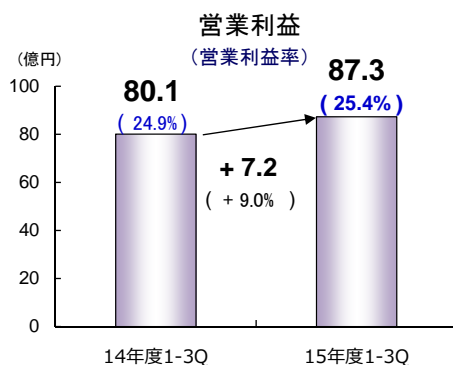
◆海外: 増収(+22.1億円)、増益(+14.9億円)

◇増収

- ・ 原材料供給及びLPビジネスの伸長
- ・ 一過性のロイヤリティ収入(2Q)
- ・ 為替影響: 12億円

◇増益

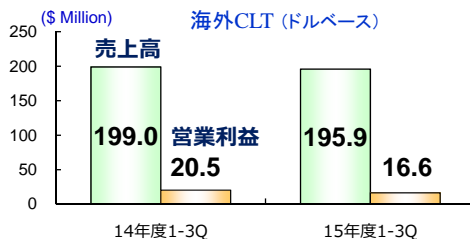
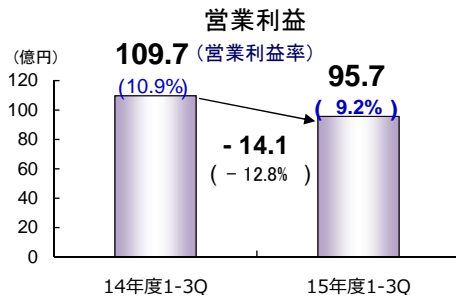
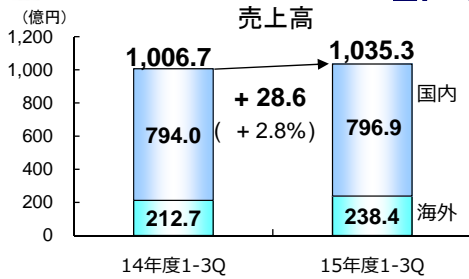
- ・ 売上増に伴う利益増: 6億円
- ・ 為替影響: 4億円
- ・ その他: ロイヤリティ収入による利益増等



3

2015年度 第1-3四半期業績

2. CLT事業 : 増収、減益



◆国内: 微増収(+3.0億円)、減益(-10.8億円)

◇売上高

- ・新規項目及び既存顧客での受託増
- ・価格下落の影響: 約-3%

◇営業利益

- ・価格下落に伴う限界利益減
- ・ナビラボ稼働による経費負担増
- ・新規項目導入に伴う先行投資

◆海外: 増収(+25.7億円)、減益(-3.3億円)

- ・為替影響による増収: +29億円

【MLS現地通貨ベース(のれん償却前)】

◇売上高: -\$3.2M

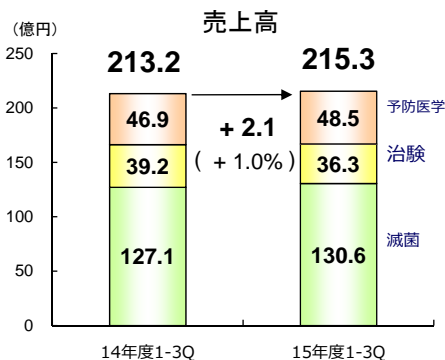
- ・平均単価下落の影響: -\$9M
- ・業務量増の影響: +\$6M

◇営業利益: -\$3.9M

- ・項目/分野ミックス及び価格下落による限界利益減

2015年度 第1-3四半期業績

3. HR事業 : 微増収、減益

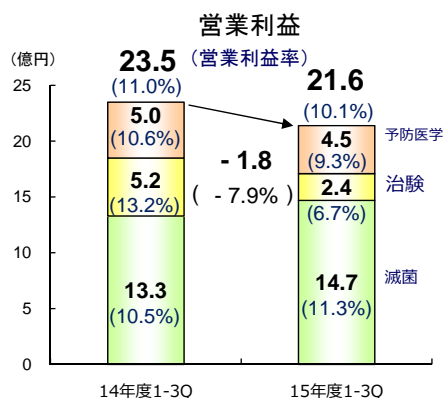


◆滅菌事業: 売上高 +3.4億円、営業利益 +1.4億円

- ・院内事業が堅調に推移、地域拡大(沖縄)等により増収

◆治験事業: 売上高 -2.9億円、営業利益 -2.8億円

- ・単価下落、商談件数の減少による減収が継続
- ・固定費削減を実施するも効果は未だ限定的

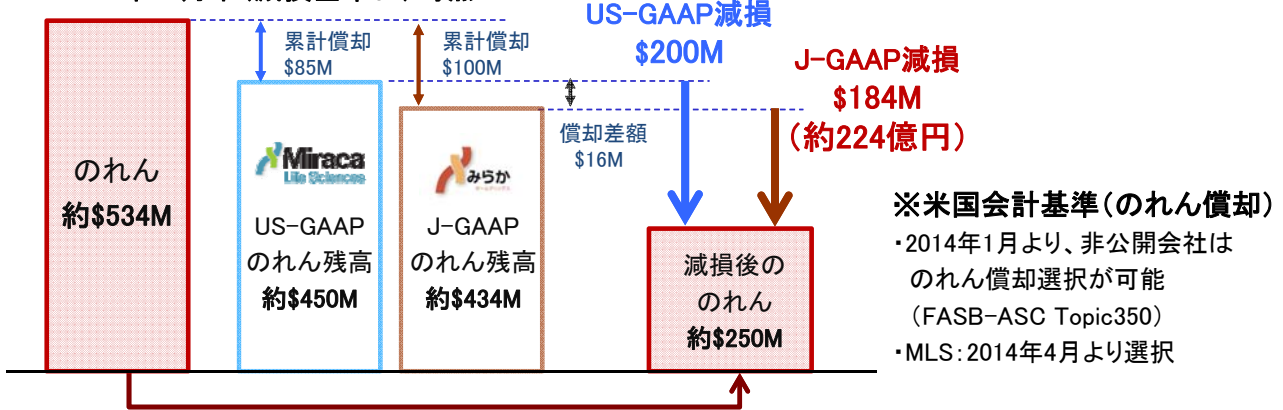


◆予防医学関連: 売上高 +1.6億円、営業利益 -0.5億円

- ・介護事業: 安定的な売上成長が継続、
- ・レンタル資産の購入拡大により減益

MLSのれん減損 会計処理について

2015年10月末(減損基準日)時点



◆J-GAAPのれん償却額

- ・買収時より、20年均等償却、累計償却額約\$100M(2015年10月末)

◆US-GAAPのれん償却額

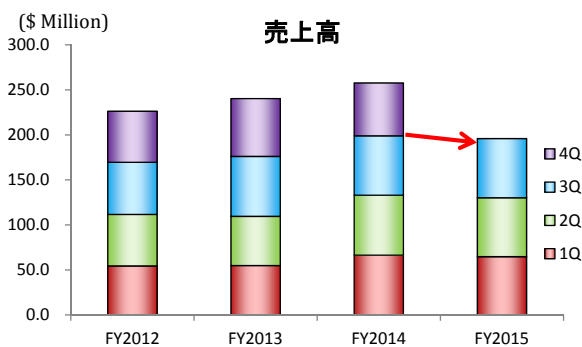
- ・2014年4月より、10年均等償却、累計償却額約\$85M(2015年10月末)

◆のれん減損額及び みらか連結業績への影響

- ・減損テストの結果、\$200Mの減損が妥当と判断(US-GAAP)
- ・J-GAAPでは、US-GAAPより約\$16Mのれん償却が進んでおり、これを控除した約\$184M(約224億円)を減損処理し、みらか連結上の特別損失に計上
- ・のれん償却額は今後通年で約\$11M減少(15年度は約\$5M減少)

6

MLS 減損損失に至った経緯



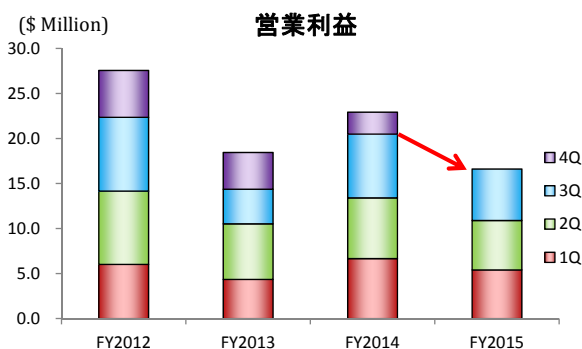
【買収後～FY2014】

- ◆売上は堅調に推移するも、収益性が低下
 - ・公的保険の償還価格の下落に端を発した価格圧力の高まり
- 収益構造改善策によりFY14で改善

【FY2015】

- ◆事業環境が上期より悪化
 - ・POL(*)による顧客喪失
 - ・病院による医師取り込みによる顧客喪失
- ◆3Q末で営業利益は前年の8割程度
 - ・公的保険における1検体あたりの検査数制限を一部保険会社が適用開始(10月)

トリガーイベントの発生を認識し
減損テストを実施 → のれん減損



*: Physician Owned Laboratory

7

◆市場環境の見通し

- ・価格：2016年公的保険の償還価格改定はプラス
- ・検査数：公的保険における1検体あたりの検査数制限による影響
- ・検体数：年3%程度の成長を見込む

◆通期業績の見通し

当2Q、3Q業績のトレンド(売上:ほぼ前年並み、OP:前年の約8割)が継続

◆今後の方向性

①事業改善計画を着実に遂行

- ・GI：顧客維持、オペレーション合理化による利益ベースの維持
- ・Derm：2015年度1-3Qでは、対前年で検体数+24.6%
ITベンダー提携が奏功、更なる成長へ
- ・その他：安定成長を目指す

②収益構造の改善に注力

- ・新LISの導入、ラボ施設の集約、検査工程の自動化等

連絡先：

みらかホールディングス株式会社

IR広報グループ TEL:03-5909-3337

将来見通しに関する注意事項：

資料中の業績見通し数値は、現時点において入手可能な情報から得られた当社経営陣による判断に基づくものですが、重大なリスクや不確実性を含んでいる情報から得られた多くの仮定および考えに基づき作成されたものです。実際の業績は、さまざまな要素によりこれら業績見通しとは異なる結果となり得る事をご承知おきください。

実際の業績に影響を与える要素には、経済情勢の悪化、為替レートの変動、法律・行政制度の変化、新製品上市の遅延、競合会社の製品戦略による圧力、当社既存製品の販売力の低下、販売中止、等がありますが、これらに限定されるものではありません。